

学3年生まで拡大すべきと思うが、区の見解を伺う。

さらに、認証保育所等への利用者負担金助成制度創設を平成19年度から実施すべきだが、検討状況を伺う。

また、私立幼稚園の入園補助金が平成15年度に1万円から3万円に改正されたが、入園料は8万円から10万円である。負担軽減からも平成19年度に増額が必要と思うが、区の見解を伺う。

【答】子ども医療費助成制度の拡充については、小学校3年生までの申請状況を勘案し、平成19年度から入院医療費の助成対象を中学校3年生まで拡大する方向で検討している。

なお、通院医療費を含めた拡充については、財政状況を見ながら今後の検討課題としていく。認証保育所利用者への助成金制度については、現在平成19年度からの制度創設に向け対象金額、支払方法、システム開発等の検討を進めている。私立幼稚園の入園料補助金については、増額する方向で検討していく。

【問】IT、情報化が大きな進歩を遂げ、図書館の形態も単なる本の貸し出しから、レファレンスと情報リテラシーへ大きく変化している。平成18年3月に文部科学省から「これからの図書館像」の報告が出されているが、これを参考に「これからの図書館検討委員会」等の設置が必要と思うが、区の見解を伺う。

【答】今年度、足立区における新しい時代に対応した図書館サービスの展開に向けての基本的考え方」を社会教育委員会議へ



議員 浩一

の諮問事項とした。この会議において、レファレンス機能の強化や情報リテラシーへの対応等を含めた「これからの図書館のあり方」の検討を進めていく。

【問】区が発行する説明書や申込書、パンフレット等について「受け取る人に配慮されているか」「誰でもが理解し易い内容となっているか」等のユニバーサルデザインの視点で総点検し、改善していくべきと考え

【答】印刷物については、ユニバーサルデザインに配慮した統一した運用基準がない。今後は総点検を実施し、統一した基準の策定等、誰もがわかりやすい印刷物にしたいと考えている。

【問】区の広報で「足立区のユニバーサルデザイン」の取り組みが紹介されていたが、特定の部や課だけでなく、全庁的にユニバーサルデザインの取り組みを計画的・体系的に実施していく必要がある。そこで「協働で築く力強い足立区」の実現のために、ユニバーサルデザインのガイドラインを策定すべきと思うが、区の見解を伺う。

【答】区では、ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりや誰もが利用しやすい行政サービスの提供を進めている。今後、

ユニバーサルデザインの一層の推進が求められると想定されるため、ガイドラインの策定を含めた推進の仕組みづくりについて、基本計画の中間見直しや第二次構造改革戦略の見直し等に



【問】千葉県の清水公園にはキャンプ場や花ファンタジア、日本一のフィールドアスレチックがあり、大いに賑わっている。舎人公園の集客力アップを図るために、これに負けないフィールドアスレチックの設置を都に要望していくべきと思うが、区の見解を伺う。

【答】舎人公園の集客力アップについては、区も様々な要望をしてきた。キャンプ広場やお花見広場等、設計に反映している。今後レクリエーションの丘も整備する予定になっているが、フィールドアスレチックについて都に提案していく。



議員 美矢子

【問】区長は定例会の挨拶で「食育推進計画策定委員会を設置した」としているが、区の基本計画策定までのスケジュールと内

容について伺う。また、食育の推進の指標となる数値目標をどのように掲げ、達成しようとしているのか伺う。

【答】5月15日に第1回食育推進計画策定委員会を開催し、検討を開始した。計画期間は平成22年度までとし、平成20年度までの2年間は、乳幼児から概ね15歳までの子どもと、その親の世代に重点を置き策定する。

【問】「光の祭典」等のイベントやベルmont公園をはじめ区内施設を結婚式の会場として提供し、足立区を夢のある「ブライダル街」としてはどうか。

【答】「ブライダル街」については、区の施設を結婚式の会場として使用することの可能性や、イベントの機会をとらえての企画づくりを検討していく。



議員 かつや

【問】税制改革に伴い、住民税だけでも定率減税の半減や老年



【問】平成19年3月には「東京未来大学」が心理学部が開学する予定となっている。学生たちに住まいや生活の場の情報等を民間に働きかけるなどして誘導し、学生の若い力と知恵を区内活性化に役立てていくべきと思うが、どうか。

【答】教育環境面で多くの課題を抱える当区にとつて、教育相談の分野等で、東京未来大学と協働体制を構築していくことが不可欠である。区と大学における定期的な連絡会を通じて、民間情報も含めた区政情報を積極的に提供し、学生の英知を地域や区内の活性化に役立てていく。

日本共産党足立区議団

【問】区長は定例会の挨拶で「食育推進計画策定委員会を設置した」としているが、区の基本計画策定までのスケジュールと内

総額は、400億円を突破している。このお金を活用して、負担軽減を図るべきと思うが、考えを寄せ。

【答】積立基金は、将来の足立区を築くために必要であり、目的の外に使用することは考えていない。

【問】住区センターの有料化により、一方の団体は有料、他方は無料と差別を設けることは地域コミュニティの破壊になるのではないか。

【答】住区センターの老人館・児童館の団体利用については、受益者負担及び公平性により、今年度から原則有料とした。ただし、公共性や公益性等を考慮し、一部免除団体の規定を設けた。

【問】国土交通省は昨年「入居承継に係る承認の厳格化について」を通知し、実質、配偶者のみに狭めるよう求めた。都の住宅政策審議会も、さらなる厳格化を答申し、居住同居者に不安を与えている。区は、住まいは人権との立場で、同じ家族が住み続けられるよう、国や都に意見を述べ、区営住宅は柔軟な対応で臨むべきと思うが、どうか。

【答】今回の方針は、世代間にわたる承継の見直しを図ったものであり、承継できる範囲を特

に居住の安定を図る必要がある者として。世帯主が亡くなった後も、同一親族が住み続けることは、入居できない人たちから見れば、公平感を欠くとされる。区として国・都と同様に適正な管理を行っていく。

【問】4月から個人の木造住宅に対する耐震補強工事への助成がはじまった。マンションの補強工事にも助成を拡充すべきだ。

【答】分譲マンションへの耐震改修助成は、耐震補強に関する相談件数や診断実績の推移、社会情勢等を考慮する必要がある。今後の検討課題と考えている。

【問】区は、区内中小零細企業をめぐる状況が深刻であると認められた上で、そこで看板や日除け等道路占用料を徴収するとした。都は、「表示面積二平方メートル以下」の看板は全額免除し、品川区も免除を行っている。区は、江東・葛飾・江戸川等近隣

